

企業・個人の情報セキュリティ対策事業
暗号アルゴリズム実装試験ツールの機能追加

JCATT ファイルフォーマット仕様書

GCM/GMAC

2012年5月

独立行政法人 情報処理推進機構

目 次

1	はじめに	3
2	GCM/GMAC	4
2.1	パラメータファイル (*.par)	5
2.2	リクエストファイル (*.req)	6
2.3	Facts ファイル (*.fax)	9
2.4	レスポンスファイル (*.rsp)	12
2.5	結果ファイル (*.out)	15

1 はじめに

暗号アルゴリズム実装試験ツール (以下 JCATT と略記する) が使用する各種ファイルのフォーマット規則を記述する。JCATT が使用するファイルには次のようなものがある。

ファイルの種類

- パラメータファイル (*.par)
試験項目の設定を記述する。JCATT を用いて作成する。
- リクエストファイル (*.req)
暗号モジュール開発ベンダに対する要求を記述する。JCATT を用いて作成する。
- Facts ファイル (*.fax)
テストベクタを記述する。JCATT を用いて作成する。
- レスポンスファイル (*.rsp)
ベンダからの回答を記述する。リクエストファイルおよび本稿で指定するファイルフォーマットに基づいてベンダが作成する。
- 結果ファイル (*.out)
試験結果を記述する。JCATT を用いて作成する。

これらのファイルの名前は、次の規則に従ってつけること。

ファイル名の規則

- 拡張子は、上記 () 内に指定したものをを使用すること。
- 拡張子以外の名前は、試験対象暗号モジュールごとに同じ名称をつけること。
リクエストファイル (*.req) と Facts ファイル (*.fax) の生成時には、リクエストファイル (*.req) と Facts ファイル (*.fax) に対してパラメータファイル (*.par) と同じ名称を JCATT が自動的につける。
試験実行時には、同じ名称のレスポンスファイル (*.rsp) と Facts ファイル (*.fax) に対して試験が行われる。また、試験実行時は、結果ファイル (*.out) に対して、Facts ファイル (*.fax) と同じ名称を JCATT が自動的につける。

ファイルフォーマット詳細は次章以降に記述する。各ファイルに共通の規則は次の通りである。

共通規則

- [] で囲まれた“タグ”の次の行に値を記述する。
- タグは各ファイルフォーマットに記述した順番通りに記述すること。
- レスポンスファイルにおいては、【出力】と記述したタグが、試験対象モジュールが出力するデータを記述する箇所である。
- 半角英数字を用いること。
- タグおよび値は大文字小文字の区別をするので、大文字小文字を含めて正確に記述すること。
ただし、数値を 16 進数で記述する場合は、大文字小文字は区別しない。
- 一文字目が # (半角) で始まるコメント行を自由に書き込むことができる。
- 平文、暗号文、鍵などのデータの区切り文字は改行 (CR+LF または LF) とする。
- 平文、暗号文、署名、鍵などのデータは 16 進表記とする。
- ビット数、個数などの数値は 10 進表記とする。
- ASCII コードを使用すること。
- 各行には必ず改行を入れること (最後のデータと EOF との間にも改行を入れること)。

2 GCM/GMAC

GCM(Galois/Counter Mode)/GMAC の暗号アルゴリズム実装試験のためのファイルフォーマットを記述する．

各表におけるブロック暗号の識別子は次表の通り．

表 1: ブロック暗号識別子

ブロック暗号識別子	対応するブロック番号
M_BlockCipher_AES	AES
M_BlockCipher_CAMELLIA	Camellia
M_BlockCipher_CIPHERUNICORN_A	CIPHERUNICORN-A
M_BlockCipher_HIEROCRYPT_3	Hierocrypt-3
M_BlockCipher_SC2000	SC2000

2.1 パラメータファイル (*.par)

表 2: GCM/GMAC パラメータファイル

機能	タグ	内容
(共通)	[Algorithm Name]	GCM/GMAC
暗号化	[Function Name]	Encryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進数表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[IV Generation]	IV 生成. 外部 (External) あるいは内部 (Internal)
	[Min BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する. [10 進数表記]
	[Number of Plaintexts]	平文の個数 [10 進数表記]
復号	[Function Name]	Decryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進数表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する. [10 進数表記]
	[Number of Ciphertexts]	暗号文の個数 [10 進数表記]
	[Rate of Fail Data]	改ざんデータの割合 (%)

2.2 リクエストファイル (*.req)

表 3: GCM/GMAC リクエストファイル

機能	タグ	内容
(共通)	[Algorithm Name]	GCM/GMAC
暗号化	[Function Name]	Encryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[IV Generation]	IV 生成. 外部 (External) あるいは内部 (Internal)
	[Min BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する. [10 進表記]
	[Number of Plaintexts]	平文の個数 [10 進数表記]
	[Key] ¹	鍵 [16 進表記]
	[IV] ¹	IV[16 進表記]. IV が内部生成の場合, 空行
	[Plaintext] ¹	平文 [16 進表記]
	[AAD] ¹	AAD[16 進表記]
	[Ciphertext] ¹	暗号文 [空行]
	[Tag] ¹	Tag[空行]
復号	[Function Name]	Decryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する.[10 進表記]
	[Number of Ciphertexts]	暗号文の個数 [10 進数表記]
	[Key] ²	鍵 [16 進表記]
	[IV] ²	IV[16 進表記]
	[Ciphertext] ²	暗号文 [16 進表記]
	[AAD] ²	AAD[16 進表記]
	[Plaintext] ²	平文 [空行]
	[Tag] ²	Tag[16 進表記]

注

1. [Number of Plaintexts] 個の鍵 [Key] と IV[IV] と平文 [Plaintext] と AAD[AAD] と空行の暗号文 [Ciphertext] と空行の Tag[Tag] を以下のようにデータを記述する.

[Key]

... # 1 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 1 つ目の IV を記述する . IV が内部生成の場合 , 何も記述しない空行を表示

[Plaintext]

... # 1 つ目の平文を記述する .

[AAD]

... # 1 つ目の AAD を記述する .

[Ciphertext]

... # [何も記述しない空行を表示]

[Tag]

... # [何も記述しない空行を表示]

[Key]

... # 2 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 2 つ目の IV を記述する . IV が内部生成の場合 , 何も記述しない空行を表示

[Plaintext]

... # 2 つ目の平文を記述する .

[AAD]

... # 2 つ目の AAD を記述する .

[Ciphertext]

... # [何も記述しない空行を表示]

[Tag]

... # [何も記述しない空行を表示]

2. [Number of Ciphertexts] 個の鍵 [Key] と IV[IV] と暗号文 [Ciphertext] と AAD[AAD] と空行の平文 [Plaintext] と Tag[Tag] を以下のようにデータを記述する.

[Key]

... # 1 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 1 つ目の IV を記述する .

[Ciphertext]

... # 1 つ目の暗号文を記述する .

[AAD]

... # 1 つ目の AAD を記述する .

[Plaintext]

... # [何も記述しない空行を表示]

[Tag]

... # 1 つ目の Tag を記述する .

[Key]

... # 2 回目の鍵を記述する .

[IV]

... # 2 回目の IV を記述する .

[Ciphertext]

... # 2 回目の暗号文を記述する .

[AAD]

... # 2 回目の AAD を記述する .

[Plaintext]

... # [何も記述しない空行を表示]

[Tag]

... # 2 回目の Tag を記述する .

2.3 Facts ファイル (*.fax)

表 4: GCM/GMAC Facts ファイル

機能	タグ	内容
(共通)	[Algorithm Name]	GCM/GMAC
暗号化	[Function Name]	Encryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[IV Generation]	IV 生成. 外部 (External) あるいは内部 (Internal)
	[Min BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する. [10 進表記]
	[Number of Plaintexts]	平文の個数 [10 進数表記]
	[Key] ¹	鍵 [16 進表記]
	[IV] ¹	IV [16 進表記]. IV が内部生成の場合, 空行
	[Plaintext] ¹	平文 [16 進表記]
	[AAD] ¹	AAD [16 進表記]
	[Ciphertext] ¹	暗号文 [16 進表記]. IV が外部生成の場合のみ. GMAC の試験の場合は本内容は使用しない.
	[Tag] ¹	Tag [16 進表記]. IV が外部生成の場合のみ.

次のページに続く

表 5: GCM/GMAC Facts ファイル (続き)

機能	タグ	内容
復号	[Function Name]	Decryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する.[10 進表記]
	[Number of Ciphertexts]	暗号文の個数 [10 進数表記]
	[Key] ²	鍵 [16 進表記]
	[IV] ²	IV [16 進表記]
	[Ciphertext] ²	暗号文 [16 進表記]
	[AAD] ²	AAD [16 進表記]
	[Plaintext] ²	平文 [16 進表記]. 復号に失敗した場合は, [Plaintext] データの該当行に INVALID と記載
	[Tag] ²	Tag [16 進表記]

注

1. [Number of Plaintexts] 個の鍵 [Key] と IV [IV] と平文 [Plaintext] と AAD [AAD] と暗号文 [Ciphertext] と Tag [Tag] を以下のようにデータを記述する.

[Key]

... # 1 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 1 つ目の IV を記述する . IV が内部生成の場合 , 何も記述しない空行を表示

[Plaintext]

... # 1 つ目の平文を記述する .

[AAD]

... # 1 つ目の AAD を記述する .

[Ciphertext]

... # 1 つ目の暗号文を記述する .

[Tag]

... # 1 つ目の Tag を記述する .

[Key]

... # 2 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 2 つ目の IV を記述する . IV が内部生成の場合 , 何も記述しない空行を表示

[Plaintext]

... # 2 つ目の平文を記述する .

[AAD]
... # 2 回目の AAD を記述する .
[Ciphertext]
... # 2 回目の暗号文を記述する .
[Tag]
... # 2 回目の Tag を記述する .

2. [Number of Ciphertexts] 個の鍵 [Key] と IV[IV] と暗号文 [Ciphertext] と AAD[AAD] と平文 [Plaintext] と Tag[Tag] を以下のようにデータを記述する.

[Key]
... # 1 回目の鍵を記述する .
[IV]
... # 1 回目の IV を記述する .
[Ciphertext]
... # 1 回目の暗号文を記述する .
[AAD]
... # 1 回目の AAD を記述する .
[Plaintext]
... # 1 回目の平文を記述する .
[Tag]
... # 1 回目の Tag を記述する .
[Key]
... # 2 回目の鍵を記述する .
[IV]
... # 2 回目の IV を記述する .
[Ciphertext]
... # 2 回目の暗号文を記述する .
[AAD]
... # 2 回目の AAD を記述する .
[Plaintext]
... # 2 回目の平文を記述する .
[Tag]
... # 2 回目の Tag を記述する .

2.4 レスポンスファイル (*.rsp)

表 6: GCM/GMAC レスポンスファイル

機能	タグ	内容
(共通)	[Algorithm Name]	GCM/GMAC
暗号化	[Function Name]	Encryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[IV Generation]	IV 生成. 外部 (External) あるいは内部 (Internal)
	[Min BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Plaintext]	平文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する。[10 進表記]
	[Number of Plaintexts]	平文の個数 [10 進数表記]
	[Key] ¹	鍵 [16 進表記]
	[IV] ¹	IV[16 進表記].IV が内部生成の場合は【出力】
	[Plaintext] ¹	平文 [16 進表記]
	[AAD] ¹	AAD[16 進表記]
	[Ciphertext] ¹	【出力】暗号文 [16 進表記]. GMAC の試験の場合は空行とする .
	[Tag] ¹	【出力】Tag[16 進表記].

次のページに続く

表 7: GCM/GMAC レスポンスファイル (続き)

機能	タグ	内容
復号	[Function Name]	Decryption
	[Block Cipher]	GCM/GMAC 内部で使用するブロック暗号識別子
	[Bitlength of Key]	鍵のビット長. 128 または 192 または 256 [10 進表記]
	[Min BitLength of IV]	IV のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of IV]	IV のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of Ciphertext]	暗号文のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Min BitLength of AAD]	AAD のビット長の最小値 [10 進数表記]
	[Max BitLength of AAD]	AAD のビット長の最大値 [10 進数表記]
	[Bitlength of Tag]	Tag のビット長. 128, 120, 112, 104, 96, 64, 32 のいずれかひとつを設定する.[10 進表記]
	[Number of Ciphertexts]	暗号文の個数 [10 進数表記]
	[Key] ²	鍵 [16 進表記]
	[IV] ²	IV [16 進表記]
	[Ciphertext] ²	暗号文 [16 進表記]
	[AAD] ²	AAD [16 進表記]
	[Plaintext] ²	【出力】平文 [16 進表記]. 復号に失敗した場合は, [Plaintext] データの該当行に INVALID と記載
	[Tag] ²	Tag [16 進表記]

注

1. [Number of Plaintexts] 個の鍵 [Key] と IV [IV] と平文 [Plaintext] と AAD [AAD] と【出力】暗号文 [Ciphertext] と【出力】Tag [Tag] を以下のようにデータを記述する.

[Key]

... # 1 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 1 つ目の IV を記述する .

[Plaintext]

... # 1 つ目の平文を記述する .

[AAD]

... # 1 つ目の AAD を記述する .

[Ciphertext]

... # 1 つ目の【出力】暗号文を記述する . GMAC の試験の場合は空行とする .

[Tag]

... # 1 つ目の【出力】Tag を記述する .

[Key]

... # 2 つ目の鍵を記述する .

[IV]

... # 2 つ目の IV を記述する .

[Plaintext]

... # 2 回目の平文を記述する .

[AAD]

... # 2 回目の AAD を記述する .

[Ciphertext]

... # 2 回目の【出力】暗号文を記述する . GMAC の試験の場合は空行とする .

[Tag]

... # 2 回目の【出力】 Tag を記述する .

2. [Number of Ciphertexts] 個の鍵 [Key] と IV[IV] と暗号文 [Ciphertext] と AAD[AAD] と【出力】平文 [Plaintext] と Tag[Tag] を以下のようにデータを記述する.

[Key]

... # 1 回目の鍵を記述する .

[IV]

... # 1 回目の IV を記述する .

[Ciphertext]

... # 1 回目の暗号文を記述する .

[AAD]

... # 1 回目の AAD を記述する .

[Plaintext]

... # 1 回目の【出力】平文を記述する .

[Tag]

... # 1 回目の Tag を記述する .

[Key]

... # 2 回目の鍵を記述する .

[IV]

... # 2 回目の IV を記述する .

[Ciphertext]

... # 2 回目の暗号文を記述する .

[AAD]

... # 2 回目の AAD を記述する .

[Plaintext]

... # 2 回目の【出力】平文を記述する .

[Tag]

... # 2 回目の Tag を記述する .

2.5 結果ファイル (*.out)

表 8: GCM/GMAC 結果ファイル

タグ	内容
[Algorithm Name]	暗号名
[Function Name]	試験対象機能名
[Results]	試験結果

注

- 試験合格の場合，[Results] に OK と表示される．
- 試験不合格の場合，[Results] に何らかの形式で NG と表示される．また，[Results] には，レスポンスファイル内の不合格となったデータが記述されているタグ名と，そのタグ内の何番目 (No.，#等の記号で番号を表す) のデータが不合格となったかが表示される．不合格となったデータが記述されているタグ名は，前記のレスポンスファイル仕様に【出力】と記述したタグである．ただし【出力】と記述したタグが1つしかない場合，タグ名は省略することがある．